



国際ロータリー第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

御殿場 ロータリークラブ 週報

第2605回 例会プログラム

- 例会場 / 東山荘講堂
- 開会点鐘 / 12:30 ● 国歌斉唱
- ロータリーソング / 四つのテスト
- 内容 /
前会長・幹事慰労会並びに新入会員歓迎会
親睦活動委員会

会員慶事

- 会員誕生日 / 8月17日 小早川豊一君



会長挨拶

臼井良太



今回は土木屋らしく“土”の話をします。

土木工事において土は重要な材料です。土の粒子には径2ミリ以上を「礫」、それより小さい径(2.0~0.074ミリ)を「砂」、それ以下を「粘土」といい、粘土のうち0.001ミリ以下を「コロイド」と言います。

湿った土を握りしめると団子状になります。このような土は粘土を多く含み一般的には「黒土」や「黒ボク」などと呼ばれていて道路工事にはあまり向きませんが、農業には向いています。砂や粒度の良い土は道路工事に向いていて手で握りしめても団子にはなりません。

このようなことを土の中の水分量で表した数値を土木用語では「塑性指数」と言います。

土の重さを考えると、土は土粒子と水と空気できています。土に入っている水の重さと土

粒子の重さの比率を「含水比」と言います。自然の中には色々な土があり、含水比は砂質土では20%程度、関東ローム層のような粘性土は70~100%、北海道の根釧台地などは400~800%の土もあります。

含水比100%とは100グラムの土を110℃の乾燥炉に入れて24時間乾かすと50グラムになってしまうことです。関東ローム層などの粘性土は、その乾いた土粒子に水を50グラム混ぜても元には戻りません。それは何万年かかかって粘土の細かい土粒子に水が囲んで隣の土粒子と表面張力のような力でくっついているからで、一度乱したら同じ土には戻らなくなります。

機械が無い時代では関東ローム層は住宅基礎などでは良好な地盤でしたが、大造成工事など、機械で土を乱したら歩くのも苦勞するような軟弱地盤になってしまいます。土の中の半分は水ですので当たり前なのかもしれません。



会長挨拶用
QRコード



ROTARY OPENS
OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

8月13日は
休会です

次回
8月20日の
例会

★東山荘講堂 ★12:30点鐘
★定款・細則変更について
定款細則検討委員会委員長
勝又 洋君

第1回 クラブ協議会

今回は第1回目ということで、各委員長による顔合わせと一年間の抱負が語られました。
 (「三密」を避けるため、できるだけソーシャルディスタンスを確保して行われました。)



7/30の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
55名	51名	49名	96.08%	100%

欠席者(2名)

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

7/30のスマイル

何となく 芹澤正明君



司会
勝又 淳君



出席報告
久保田勇輝君



会員誕生日
芹澤正明君



会員誕生日
鈴木善明君